



MF BOOST

QUICK START
クイック・スタート

アフターサービス

■保証書

本製品には、保証書が添付されています。お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。記入がないものは無効となります。

なお、保証書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

■保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

■保証期間経過後の修理

修理することによって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品(電子回路のように機能維持のために必要な部品)の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品(パネルなど)の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめお買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。

■修理を依頼される前に

故障かな?とお思いになったらまず取扱説明書をよくお読みの上、もう一度ご確認ください。それでも異常があるときはお買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。

■修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷等を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

MF BOOST Specs

- シグナル・パス: 100%アナログ
- バイパス・タイプ: ツールー・バイパス
- 電源: DC9V
- 重量: 500g
- ボディ: アルミキャスト製
- 外形寸法: 83 (W) x 144 (D) x 58 (H) mm
- ゲイン: -65dB~+18dB
- トーン・コントロール: 165Hz~20kHzローパス・フィルター(6dB/Oct、エフェクト音のみにかかります)
- エクスプレッション端子: ゲインをMoog EP-3などのエクスプレッション・ペダルでコントロール可能(最大入力電圧: DC+5V)
- 入力インピーダンス: 1M Ω
- 出力インピーダンス: 100 Ω (最小)
- 消費電流: 8mA

Moog製品の最新情報をいち早くキャッチでき、ユーザー登録も行えるMoogウェブサイトにてぜひお立ち寄りください。

<http://www.korg.co.jp/KID/moog/>

moog®

■ご質問、ご相談について

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、お買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。

商品のお取り扱いに関するご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です

This product is only suitable for sale in Japan. Properly qualified service is not available for this product elsewhere. Any unauthorized modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

株式会社コルグ

お客様相談窓口 TEL 0570 (666) 569

●サービス・センター: 〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-15-12

輸入販売元: KORG Import Division

〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2

WEB SITE: <http://www.korg.co.jp/KID/index.html>

KORG

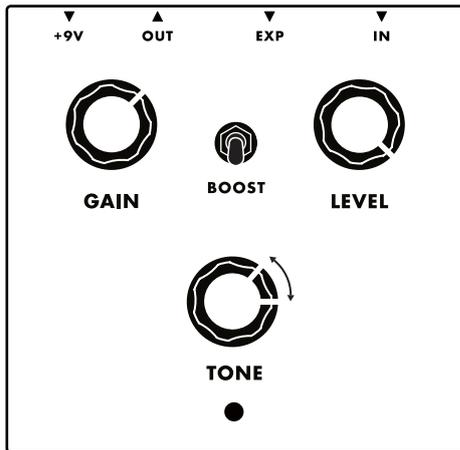
本社: 〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2

URL: <http://www.korg.co.jp>

©2013 KORG INC.

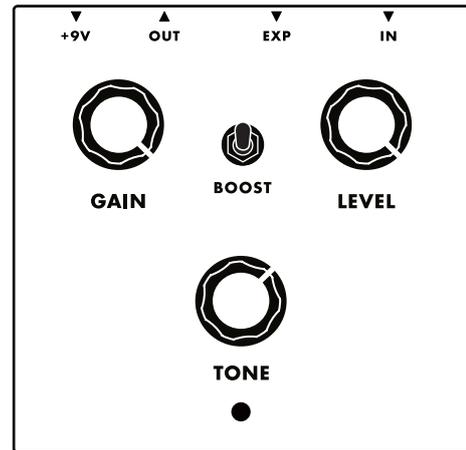
Printed in Japan

VOL. PEDAL (EP-3ペダルでボリュームと同時にトーンも変化)



[GAIN]ノブ: インプット・ゲイン(入力感度)をゼロから最大の範囲で設定します。[BOOST]スイッチがダウン・ポジション(下: VCAモード)の場合、このノブを最大にセットします。このセッティングでは、タイトに締まった低音域、豊かな中音域、よく伸びた高音域のサウンドになります。また、[BOOST]スイッチをアップ・ポジション(上: クリップしたOTAモード)にすると、さらに中音域が強調され、クリーミーでわずかにコンプがかかったようなサウンドになります。

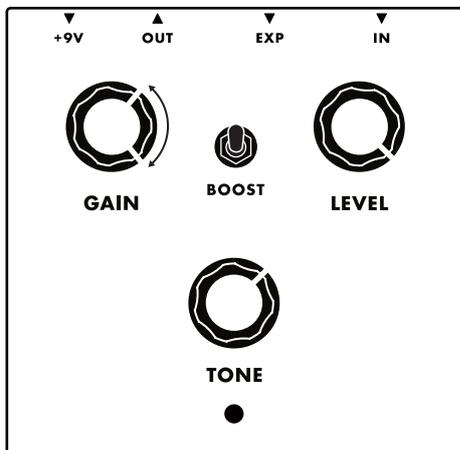
HIGH GAIN (EP-3ペダルを踏み込んだ状態で使用)



[BOOST]スイッチ: このスイッチをダウン・ポジションにセットすると、入力信号がVCAに入り、クリーンで明瞭なトーン、そして6dBの穏やかなブースト(Moog EP-3などのエクスペッション・ペダル使用時には最大12dB以上)が得られ、いわゆるブティック・アンプのようなサウンドになります。このスイッチをアップ・ポジションにセットすると、入力信号がクリップしたOTAに入り、12dBのブースト(エクスペッション・ペダル使用時には18dB以上)が得られ、クリーミーでギターとアンプが一体となったようなクラシック・サウンドで、穏やかな歪みから歌い上げるようなリード・トーンまで、幅広く使用できます。どちらのセッティングでも、ナチュラルで音楽的なコンプがかかります。

OTA: Operational Transconductance Amplifier。

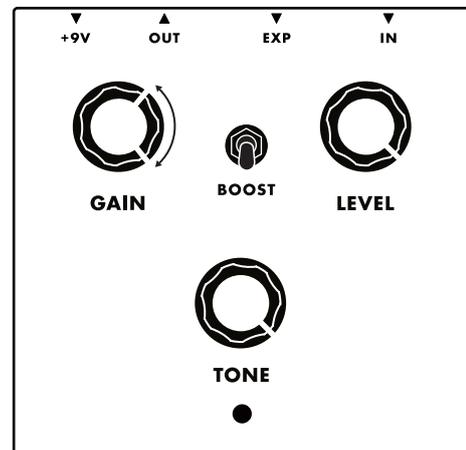
FAT BOOST (EP-3ペダルでより大きなゲインが得られます)



[LEVEL]ノブ: このノブで、[GAIN]ノブによる入力音の色付けや穏やかなコンプレッションをそのままに、出力レベルのみをコントロールすることができます。なお、このノブを左いっぱい(反時計回り)に回しても出力レベルは完全なオフにはなりませんのでご注意ください。

[EXP]インプット: Moog EP-3などのエクスペッション・ペダルを接続でき、[GAIN]ノブをコントロールします。[GAIN]ノブが最小の場合、エクスペッション・ペダルはボリューム・ペダルとして機能します。[GAIN]ノブが中間のポジションで、[BOOST]スイッチがアップ・ポジション(クリップしたOTAモード)の場合、エクスペッション・ペダルでブースト量を上げ下げして音楽的にコントロールできます。また、[GAIN]ノブが最大の場合、エクスペッション・ペダルで本体パネルでは設定不可能な、さらに大きなゲインを得られ、アンプをオーバードライブさせることができます。

BITE & SPARKLE



[TONE]ノブ: このノブを右(時計回り)に回していくと、高音域のヌケが良くなり、明瞭なトーン、ピッキングのニュアンスを出しやすくなります。[TONE]ノブを高い設定にした場合、アンプのトップエンドを控えめにしてもスムーズな高音域、豊かな中音域、太さがありながらも締まった低音域といったトーンになります。また、このノブを低い設定にすると、アンプ・サウンドがより太くなり、同時にトップエンドの耳につく感じもスムーズになります。